



トピックス TOPICS

ひとまち写真館

human Town Photo studio

あなたが写っていませんか？広報さやまに掲載した写真は、広報課で撮影したものでしたら無料で差し上げます。広報課までご連絡ください。

●動物とのふれあいが楽しめる

こども動物の入園者が300万人を突破！
2月6日(日)こども動物園で平成元年5月3日に開園して以来の入園者が、300万人を突破しました。300万人めの入園者となった広瀬在住の鈴木さん親子に、記念品が贈呈されました。「市内に動物園があることはとても素晴らしいことだと思いますし、これからは400万人、500万人と来園者数を増やしてほしいと思います」と励ましの言葉がありました。

●市内で梅の花が満開

3月1日(火) 祇園保育所園庭の梅が満開になりました。これからの季節、桜やパンジー、チューリップなど、色とりどりの花が市内を彩ります。



●平安時代から続く^{きょうえん}饗宴型の酒盛り祭り 県指定無形民俗文化財・甘酒祭り



2月10・11日(木・祝)、上奥富の梅宮神社で甘酒祭りが行われました。これは、謡^{うたい}をあげては盃をすすめる饗宴型の酒盛り祭り^{さそり}で、10組の頭屋が順番で祭りを行います。2月10日は座揃式が厳粛に行われ、11日の大祭は大勢の人でにぎわいました。

●精密に描かれた植物画に感動！



2月26日(土)から3月21日(祝)都市緑化植物園で市民が描いた植物画展を行っています。葉脈などが精密に描かれた30点の作品を皆さんぜひご覧ください。

●公民館は踊りの熱気で包まれた！

チャレンジよさこいソーラン踊り
2月9日(水)から3月31日(木)までの間、柏原公民館でチャレンジよさこいソーラン踊りを開催し、22名が参加しています。軽快なテンポの音楽に合わせて掛け声と鳴子の音がホールにあふれ、参加者は、ひと踊りするたびに汗びしょり。練習の成果は、4月2日(土)に公民館で開催する、柏原春祭りで披露されます。



探山の自然 117



タチツボスミレ
(スミレ科)

国内には約50種類のスミレが自生するといわれていますが、タチツボスミレは、ごく普通に見られる種類です。山から里まであらゆる所に繁殖し、市内でもよく目にすることができます。群生することも多く、草丈は10～15cmほどで、淡い紫色の花を咲かせます。花の径は約2cmで、前の後ろ側の反り返った壺の形状が特徴です。

柏原中学校



●生徒たちの自主的なボランティア活動

柏原中の入間川クリーン作戦

毎年11月に学校独自の「入間川クリーン作戦」を行っています。10年ほど前から続けているこの活動は、生徒会の呼びかけで始まりました。放課後、1年から3年生まで、ほとんどの生徒が参加しているまがわ大橋周辺の河川敷のごみを拾います。生徒たちは、清掃活動を通して「奉仕」することの大切さを学んでいます。

●老人ホームの訪問で、高齢者とのふれあい

毎年3回学期ごとに、有志の生徒たちが学校付近の老人ホーム「つつじの園」を訪問します。事前に準備したゲームや踊りを披露したり、高齢者の方と一緒に歌うなど、楽しい交流の場です。



●保育所の年長組が小学校を見学

ぼくも私も、もうすぐ1年生



2月22日(火)、小学校への入学を4月に控えた笹井保育所の園児30名が笹井小学校を訪れました。1年生と2年生の国語と体育の授業や図書室などの施設を見学しました。参加した園児は、春から始まる小学校生活に向けて、希望に胸を膨らませていました。

●真剣勝負で腕試し! 寿荘で将棋大会

2月18日(金)寿荘で将棋大会が行われました。31名の参加者は、和やかな中にも緊張感が漂う会場で熱戦を繰り広げました。



●神経を集中、郷土かるた大会

一瞬の動きが勝敗を決める!

2月6日(日)「県の旗、まがたま十六心の輪」で始まる、さいたま郷土かるた狭山市大会が行われました。市内各地区の予選を勝ち抜いた小学生254名が入間川小学校に集まり、県大会出場を目指し熱戦が繰り広げられました。県大会は3月27日(日)さいたま市で開催されます。

